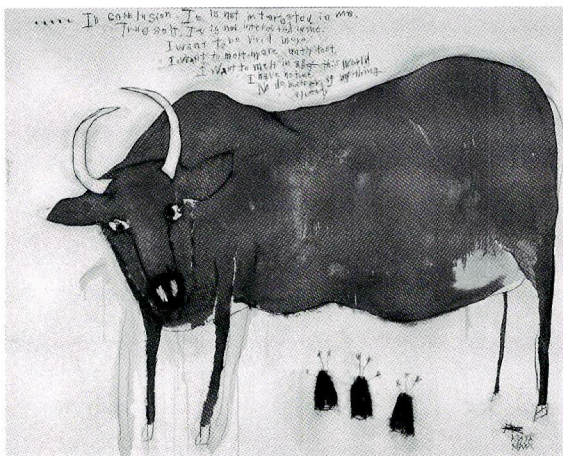


十牛図に挑む MAYA MAXX 展

@ 何必館・京都現代美術館

ART
開催中



MAYA MAXX「十牛図」2008

MAYA MAXX の極彩色の、「悟りへのマイウェイ」。

北大路魯山人のコレクションで知られる祇園の美術館・何必館。ちょっと敷居が高いイメージのこの個人美術館でいまMAYA MAXX展が開催中だ。何必館での個展は2回目。前回に続き書の内容、そして禅画「十牛図」に挑んだ新作が出品されている。

「十牛図」とは禅の悟りにいたる十の段階を牛をシンボルにした絵で追う禅画。しかし、MAYA MAXXの悟りへの道はまったくマイ

ウェイ。真っ赤な牛にカウボーイがまたがり、悟りの場面ではハワイらしき南国の女の子の姿。静かで厳かな禅のイメージが、MAYA MAXXにかかればソウルフルでほどばしるような色彩に塗り替えられる。書だてでまるで墨で描いた字の形の絵だ。禅って、そもそも人が生きる道を探るもの。いま、ここにいる我々の心を震わせる絵こそが現代の禅画だ。(沢田眉香子)

- 「十牛図に挑む MAYA MAXX展」
- 何必館・京都現代美術館（四条通花見小路）
- ~3.22 (Sun)
- 問い合わせ ☎075-525-1311 (何必館・京都現代美術館) / 月休
- 一般1000円

大前チズル50th Anniversary!



鍵盤とともに無事に到達、半世紀。「生」と「音」と「仲間」に、リスペクトを込めて。

京都出身のピアニスト、大前チズルのアンバーサリー。女性の年齢なのでアレだが、タイトルに謳っているのと言ってしまえば50歳。京都に縁のあるベテランミュージシャンといえば、昨秋、ギタリストの塩次伸二の訃報が届いたが、享年57であった。そういった意味でも、「鍵盤と共に50年を歩めた感謝はひとしおなのだろう」と、彼女を取り巻く人々も口を揃える。

ライブは場所を変え、インターバルを開け

ての2days。初日の11日は「Live spot RAG」でテクニカルな素性を遺憾なく発揮する予定だし、2日目の15日は「METRO」でのライブだ。盟友でもある本誌「月刊 芸妓自身!」のMAKOTO（同頁下枠）はもちろん、メトロではDJ YOKU(AHB)や当コーナーでも過去紹介してきたNabowaとも競演。数世代をまたいだ競演陣に、彼女の徳と、豊かなミュージックライフが分かる。音楽は、ひとりでもふんじやないしね。(竹中 聡/本誌)

- 「大前チズル50th Anniversary!」
- 3.11 (Wed) ■ OPEN 19:00~ START 20:00~ ■ 前売り3000円 当日3500円 学生2500円
- Live spot RAG 京都市中京区木町通三条上ル 京都エンバイビル5F ☎075-241-0446 http://www.ragnet.co.jp/live_spot_top.html
- 3.15 (Sun) ■ OPEN 19:00~ START 20:00~ ■ 前売り2000円 当日2500円
- METRO 京都市左京区川端丸太町下ル京阪丸太町駅2番出口 恵比須ビルBF ☎075-752-4765 <http://www.metro.ne.jp/>

LIVE
3.11~
(Wed)

月刊 芸妓自身!!

~京女・真摯のactive life~

MAKOTO ブログ 京女のつれづれ草
<http://www.cafeblo.com/kyoto/>

MAKOTO 率いる京都発信エンターテインメントチーム HP
<http://www.chimalabel.com>



「南座で王子様に!」の巻



王子様になりました! 去る1月31日に「南座」にて、一日限りの「能・狂言・京舞の会」がありました。光栄な事に「京舞」で井上流のお家元様と野村萬斎さんのお舞台に、私含め同世代の名取り芸妓衆9人で出演させていただきました。演題は「邯鄲(かんたん)」。あらすじは「邯鄲の里の宿の主は悟りがひらける枕を持っていて、廬生という男が高僧に教えを請うて行く途中、その宿でその枕を使って一眠りします。夢の中で王位につき、あっという間に五十年経ちます。限りない栄耀華を尽くした日々を過ごしますが、宿の主

に起こされ、五十年の栄耀の夢も飯が炊ける束の間であった事が分かります。人の世の栄枯盛衰が儚い例えを『邯鄲の夢のごとし』と言いますが、その原点というべき作品です」とほんまにザザッとですんまへん。

お家元様のお役が廬生で、お宿の主(仙人)が高斎さん、私達9人衆は夢の中に出て来る人物であり、私は王様の子供の役、すなわち王子様でした!! 実は子供役がとても好きでして、今までも若紫や牛若丸などを経験させてもらいましたが、小柄ならではの特権です。そのかわりイイ女系はなかなかご縁がおへんねえ(笑) 能の謡と長唄のコラボで、プロの先生方の謡と演奏で格好良過ぎ!でした。なかなか出来ぬ経験、有り難き心に刻み込まれる一日となりました。感謝です(涙) さて、4月はいよいよ「都をどり」ですえ〜。きばりまひょー!!